

# Pax Emancipation

**The Global Struggle for Freedom: 1776-1917**

Copyright © 2017, Sierra Madre Games, SMG41

Study Book Ver.1.0 (2018/12/07)

Japanese Translation: NAKAMURA Masahiro

<https://boardgamegeek.com/user/Sunfish>

<http://yaminabe.air-nifty.com/>

本ファイルは Pax Emancipation に収録されている各カード、チットの名称とフレーバーテキストを翻訳したものである。プレイには別途ルールブックが必要となる。

## TABLE OF CONTENTS

Table of Contents .....	1
西方アイデアカード Western Idea Cards.....	2
東方アイデアカード Eastern Idea Cards .....	10
革命カード Revolution Cards .....	14
バリアー Barriars.....	17
奴隷商 Slavers.....	18

## 西方アイデアカード **WESTERN IDEA CARDS**

### **1(1). キロンボ・ドス・パルマース QUILOMBO DOS PALMARES 1605-94, GANGA ZUMBA**

キロンボはブラジルの逃亡奴隷と徴兵逃れのポルトガル人による秘密集落。パルマースはの中で最大の集落で、鎮圧されるまでほぼ一世紀にわたって存続した。（訳注：Zumba はパルマース連合の指導者）

### **2(26). イエズ会伝道所 JESUIT REDUCTIONS 1754-56, CACIQUE SEPÉ TIARAJU**

映画『ミッション』 *The Mission* で描かれたイエズ会の入植地で、バンディランティスによる奴隷狩りに抵抗する南米先住民組織の避難所となった。（訳注：Sepé Tiaraju は先住民民兵の指導者）

### **3(2). マルーン MAROONS 1712-44, CAPTAIN CUDJOE**

マルーンは逃亡したアフリカ人奴隷で、先住民とともに非合法的な自治集落を形成した。マルーンの Captain Cudjoe はジャマイカにおける奴隷反乱の鎮圧に協力する代償として、英国と自治条約を締結した。

### **4(54). 大覚醒 GREAT AWAKING 1746-61, SAMUEL DAVIES**

信仰復興論者の Sam Davies は、信仰の自由を説きヴァージニア州において政教分離に尽力した。また奴隷制度に反対する立場はとらなかったが、彼らにも神の言葉を広めるため、奴隷に対する識字教育を進めることを唱えた。

### **5(24). アフリカ商社 AFRICAN COMPANY OF MERCHANTS 1752-1821, THOMAS EDWARD BOWDICH**

この会社は、西アフリカで最も大きな軍隊を抱えた奴隷産業国家である、アシャンティ族 Ashanti と友好協定を結んでいた。奴隷輸出が停止されたのちは、アシャンティ族はその奴隷をガーナのプランテーションに住まわせ、金やコーラの実などの血の作物の生産に従事させた。（訳注：Bowdich はアシャンティ王との交渉に功績のあった英国の旅行家、著作家）

### **6(6). タッキー戦争 TACKY'S WAR 1760, QUEEN CUBAH**

カリブ地域におけるハイチ以前の最大級の奴隷反乱は、アシャンティ族 Ashanti の「クバ女王」と（皮肉にもアフリカではアシャンティ族の奴隷部族だった）エイカン族 Akan のタッキーに率いられた叛乱だった。最終的にクバは追放され、タッキーはマルーン銃兵によって殺された。

### **7(62). マーケティング MARKETING 1763-95, JOSIAH WEDGWOOD**

右図のメダルは裕福な陶芸家である Wedgwood が、反奴隷制度キャンペーンの先鋒として使用したものであり、彼はダイレクトメール、イラストカタログ、返金保証、セールス巡業など、現代的マーケティングの創始者でもあった。また彼は Charles Darwin の祖父でもある。

### **8(63). 残酷かつ異常な刑罰 CRUEL AND UNUSAL PUNISHMENT 1764, CESARE BECCARIA**

ミラノの「犯罪と刑罰」論文は、拷問、死刑、密告、権力による裁量、背反する判決、反銃規制などを社会契約論を用いて批判している。（訳注：Beccaria はこの著者のミラノの官僚）

### **9(40). クラバム派 CLAPHAM SAINTS 1785-1833, WILLIAM WILBERFORCE**

英国の裕福な商人の家に生まれた Wilberforce は、博愛主義者の叔母である Hannah の影響で福音主義に改宗したことから、家族から勘気を被った。そして彼は議会における奴隷制度廃止論の主導者となった。（訳注：クラバム派は Wilberforce を中心とする改革派の通称）

**10(42). 奴隷貿易廃止協会 SOCIETY FOR THE ABOLITION OF THE SLAVE TRADE 1785-1846, THOMAS CLARKSON**

Clarkson は 25 歳で「ダマスカスへの道」に襲われ、その後の人生を奴隷制度廃止に費やすこととなった。彼は 1807 年の奴隷貿易法、1833 年の奴隷制度廃止法の制定に尽力し、1840 年の反奴隷制度会議の主講演者となった。（訳注：「ダマスカスへの道」はパウロの故事に因む、人生の突然の転機。奴隷制度は彼がラテン語のエッセイコンテストで取り上げたテーマだった）

**11(43). 黒人についての随想 REFLECTIONS ON BLACK PEOPLE 1788-93, OLYMPE DE GOUGES**

フランスの劇作家で女権運動と反奴隷制度で、多数の著作を発表した活動家。ジャコバン派によりギロチンの刑に処せられた。（訳注：表題は黒人奴隷に関する彼女の随筆）

**12(8). ハイチ叛乱 HAITIAN REVOLT 1816, TOUSSAINT LOUVERTURE**

この国家を創設するに至った唯一の奴隷叛乱は、啓蒙思想の教育を受けた自由民の Louverture により指導された。彼の憲法は奴隷の解放を宣言してはいたが、今日もハイチを貧困に止めている原因でもある、人種差別的なカースト制度で強制労働を強いる社会の歪みが残されていた。

**13(10). 自由、平等、兄弟愛 FREEDOM, EQUALITY AND BROTHERHOOD 1800, GABRIEL PROSSER**

読み書きできる奴隷であった彼は、アメリカ、フランス、ハイチでの革命に触発された。自由、平等、兄弟愛という理想が人種差別によって汚されていると考えた彼は、リッチモンドのすべての白人の殺害を目論む蜂起を企てた。（訳注：反乱は蜂起前に密告により失敗し、反動により黒人と奴隷の権利にさらなる制限が課せられた）

**14(14). 末期の奴隷叛乱 LATE SLAVE REBELLIONS 1816, BUSSA**

バルバドスの砂糖農園の奴隷たちは、議会に奴隷制度廃止派の提案がなされたことに狂喜した。しかし一向に自由が訪れないことに業を煮やした彼らは、農場管理人として働いていた Bussa という奴隷の下で蜂起に至った。訳注：続く 1823 年と 1831 年にも大規模な叛乱が発生し、これらを総称して「末期の奴隷叛乱」と呼ばれる。

**15(82). 原住民保護遠征 ABORIGINES' PROTECTION EXPEDITIONS 1823-42, FOWELL BUXTON**

Buxton が 1823 年に下院に提出した決議は「英国憲法とキリスト教の原則に反する」として奴隷制度を初めて非難したものとなった。彼がアフリカの首長らと締結した条約では、非搾取的な労働による生産物を「正当な交易品」として支援するものだった。（訳注：表題は Buxton らにより設立された原住民保護協会の探検活動。リビングストン博士にも影響を与えた）

**16(4). 奴隷労働停止運動 SLAVE WORK STOPPAGE, SAMUEL SHARPE**

すべての人々に仕事を辞める権利が存在する。独学で読み書きを学んだジャマイカのバプテスト派説教師の Shape は、議会が奴隷を解放したと誤報を信じ、ゼネストの実施を指導した。このストライキは暴動に発展し、彼は死刑に処せられた。

**17(45). フランス報道界の奴隷制度廃止論者 FRENCH ABOLITIONIST JOURNALISM 1826-93, VICTOR SCHOELCHER**

Schoelcher は 22 歳の時に、残りの人生を奴隷制度の廃止に捧げた。彼は 1848 年にフランス海軍の次官として、フランス植民地における奴隷制度を廃止する有名な法令を起草した。

**18(11). アメリカ反奴隷制度協会 AMERICAN ANTI-SLAVERY SOCIETY 1829-79, WILLIAM LLOYD GARRISON**

Garrison は投票や政府の活動に依らない、アメリカ国内の急進的奴隷制度廃止主義者を率いていた。彼らは奴隷所有者と妥協するような、いかなる人物、教会、機関、文書（合衆国憲法であれ）もボイコットした。

**19(12). 神秘主義蜂起 REBEL MYSTICISM 1831, NAT TURNER**

Turner は奴隷の身分だが少年時代に読み書きを学んだバプテスト派説教師であり、また自称預言者でもあった。彼はヴァージニアで蜂起を率いたが、民兵部隊により鎮圧された。

**20(51). クエーカー教徒 QUAKERS 1833-92, JOHN GREENLEAF WHITTIER**

キリスト友会（クエーカー）の信徒は常に小規模ながら、歴史的な慣習を打破する影響を与えてきた。彼らは大西洋の両側で奴隷解放運動の先頭に立ち、地下鉄道の活動を続けた。（訳注：Whittier はクエーカーの詩人でアメリカ反奴隷制度協会の創設メンバー）

**21(18). サビナダ農地解放戦争 SABINADA LAND REDISTRIBUTION 1837-38, FRANCISCO SABINO**

ブラジル人の Francisco Sabino は、奴隷の解放とインディオと逃亡奴隷を含む下層民に対する農地配分を唱えて、バイーア州で分離独立の蜂起を企てた。（訳注：叛乱は一年ほどで鎮圧され、Sabino は辺境のマットグロッソ州に追放された）

**22(52). 英国及び世界反奴隷制度協会 BRITISH & FOREIGN ANTISLAVERY SOCIETY 1839, GEORGE WILLIAM ALEXANDER**

大英帝国で奴隷制度が廃止されたのち、英国の財界人で博愛主義者の George William Alexander は、世界規模での反奴隷制度キャンペーンを継続するための団体を設立した。（訳注：現在も Anti-Slavery International として活動を継続する、世界で最も古い国際人権団体）

**23(94). 人種的平等 RACIAL EQUALTY 1839-95, FREDERICK DOUGLASS**

独学で学んだこの逃亡奴隷は「性別、皮膚の色を問わず、神は私たちすべての父であり、我々は皆兄弟だ」をモットーに週刊紙を発行した。彼は「私は正しい行いをする者であれば誰とでも手を結ぶし、不正を行う者であれば何者であっても手を結ばない」と語り、奴隷所有者との対話を否定しなかった。

**24(81). 自由党 LIBERTY PARTY 1840-48, ARTHUR & LEWIS TAPPAN**

裕福なニューヨークの企業家と元奴隷所有者の二人により設立された政党で、逃亡奴隷法の撤廃と「連邦政府における奴隷制度の無条件の非合法化と、すべての人々の平等性の回復」を要求していた。（訳注：Tappan 兄弟は信用格付けサービスを創始者で、アメリカ反奴隷制度協会の創設メンバー）

**25(55). 植民地利他主義 COLONIAL ALTRUISM 1841-73, DAVID LIVINGSTONE**

宣教師の殉教者、労働者階級からの立身出世物語、科学的な調査・探検者、植民地帝国の改革者、反奴隷制度の改革者、商業・植民地主義拡大の提唱者など、さまざまな側面を持つ人物。（訳注：表記の年代は Livingstone がアフリカ探検に従事した期間）

**26(12). 被統治者の同意 THE CONSENT OF THE GOVERNED 1848, 諸国民の春 THE PEOPLE'S SPRING**

支配の正当性の根拠は「被統治者の同意」にあり、これは政府はその責務のため市民により規定された以外の権限を有しないことを意味する。1848年に各国で発生した暴動により、デンマーク、オランダ、ハブスブルグ帝国、プロイセンでは農奴制が廃止された。

### **27(21). 市民的不服従 CIVIL DISOBEDIENCE 1849, HENRY DAVID THOREAU**

アメリカの超越主義者によるこのエッセイでは、政府が重大な不正に関与している場合、あらゆる犠牲や出費が正当化されてしまう懸念が述べられている。「アメリカ国民は、たとえ国家の存亡にかかわる、奴隷を所有すること、メキシコに戦争をしかけることをやめなくてはならない」（訳注：『市民の反抗：他五篇』*Civil Disobedience*, (飯田実(訳), 岩波書店, 1997) )

### **28(22). 地下鉄道 UNDERGROUND RAILROAD, HARRIET TUBMAN**

虐待を受けていた奴隷である彼女は、メリーランド州で地下鉄道を組織し、後にはハーバースフェリーでの Jhon Brown の企てを援助した。また彼女は南北戦争で武装した遠征隊を率いた最初の女性でもあり、1863年には Combahee Ferry への襲撃を指揮し、700人以上の奴隷を解放した。

### **29(17). アンクル・トムの小屋 UNCLE TOM'S CABIN 1851-52, HARRIET BEECHER STOWE**

『アンクル・トムの小屋』は、主人、奴隷商人、奴隷として奴隷制度に直接かかわる人々のみならず、個人に対して奴隷制度がぼす影響を現実的に描いた作品だった。こうした感傷小説は 18 世紀の西欧で出現した文学ジャンルであり、東洋では見られないものだった。（訳注：Stone は奴隷制度廃止論者で同作の著者）

### **30(13). 血を流すカンザス BLEEDING KANSAS 1856-59, JOHN BROWN**

「ここに、神の御前で、これらの証人の前で、これから、私はこの人生を奴隷制度の破壊のために捧げる！」事業に失敗した企業家の Jhon Brown に率いられた「ギレアデス同盟」は、カンザス州とヴァージニア州で奴隷所有者を殺害した。彼は改心することなく裁判により絞首刑となった。（訳注：台詞は奴隷制度廃止派の Elijah Parish Lovejoy が、1837年に暴徒に殺害された知らせを受けた際の Brown の言葉）

### **31(38). コンドル派 CONDORISM 1865-85, VICTOR HUGO**

Castro Alves をはじめとするブラジルのコンドル派の詩人たちは、コンドルのように広い視野を持つ人々が、人々を正義と自由の道に導くべきだと考えていた。彼らのこうした輝かしい人間観は、Victor Hugo の小説の影響を受けたものだった。

### **32(41). 奴隷解放ジャーナリズム MANUMISSION JOURNALISM 1877-1905, JOSÉ DO PATROCÍNIO**

「廃止派の虎」と呼ばれたこのブラジル人ジャーナリストの活動家は、奴隷廃止連盟 *Confederacao Abolitionista* のメンバーだった。廃止派の彼の新聞は数多くの奴隷の解放を手助けした。

### **33(72). 人身保護令状 HABEAS CORPUS 1880, ANDRÉ REBOUÇAS**

人身保護令状は英国のコモン・ローに由来する令状で、不当に拘束された人物の解放を求めるものである。この奴隷を親に持つ独学の法律家は、パイア下院の代議士を務めた。彼は奴隷の解放活動で有名な奴隷廃止連盟 *Confederacao Abolitionista* を設立した。

### **34(98). 社会契約説 SOCIAL CONTRACT 1620-79, THOMAS HOBBS**

Hobbes は社会契約により絶対的な君主が主権を有するものとしたが、同時に以下のような個人の権利も擁護した；自然法の下でのすべての人間の平等；総意に基づく政治権力の合法性；法律により明示的に禁止されていない行為の自由、等である。

### **35(84). 合理主義 RATIONALISM 1626-50, RENÉ DESCARTES**

デカルト派の合理主義では、自然科学を発展させるために懐疑を用い、理論により道徳を構築する。感覚的経験を重視する経験主義とは対照的に、知識は「生得観念」からの推論で演算的に導き出されるのである。

### **36(37). 表現の自由 FREEDOM OF SPEECH 1626-74, JOHN MILTON**

Milton は *Areopagitica* (1644)において、出版前検閲と言論の自由の制限を激しく非難した。彼は Lock と Jefferson の中間的立場で、国家が個人の生活、自由、私有財産を強制力から保護する限りにおいて、社会契約が存在することに同意した。

### **37(30). エチカ ETHICS 1660-77, BARUCH SPINOZA**

Spinoza の『エチカ』は、アリストテレス以来最も完全な非超自然的な倫理体系であり、個人主義と理性を基に築かれている。ここで人間は他の延長された精神的な存在と同じ因果関係の中で、自然の一部として展開されている。

### **38(87). 代数的思考様式 ALGEBRA OF THOUGHT 1666-1716, GOTTFRIED WILHELM LEIBNIZ**

Leibniz は真理は我々の理性によってのみ到達可能であり、それらは多数の純粋な計算に還元できると信じていた。Descartes や Spinoza と同様に、彼は人間の論理的思考と科学の発展について、楽観的な立場をとっていた。

### **39(90). プリンキピア PRINCIPIA 1687-1726, ISAAC NEWTON**

Newton は自然かつ合理的に理解できる法則に基づいた宇宙を想定した。彼の友人である Locke と Voltaire らは、この思想を政治システムの権利の本質に適用した；重農主義者と Adam Smith もまた、この理論を心理学と経済学の自己利益の理論に適用した。

### **40(91). 見えざる手 THE INVISIBLE HAND 1704-33, BERNARD MANDEVILLE**

彼の『蜂の寓話』*The Fables of the Bees* は分業と「見えざる手」の重要性を論証したものである。スミスの自由放任的な主張とは対照的に、この手の行方は導く必要があるとされていた。「熟達した政治家が私欲を巧妙に操ることで、公益が生み出されるかもしれないのである」

### **41(73). 権力分立 SEPARATION OF POWERS 1715-55, MONTESQUIEU**

彼の思想は古典的な王と貴族の関係に抑制と均衡を持ち込んだものであるが、その後行政、立法、司法のそれぞれの分立と相互依存の関係に展開された。Montesquieu はまた『法の精神』*The Spirit of the Laws* (1748)の中で奴隷制度への反対を表明している。

### **42(85). 不可譲の権利 UNALIENABLE RIGHTS 1725-46, FRANCIS HUTCHESON**

彼の「道徳哲学体系」は、奴隷制度に反対する根拠として、生命と自由を奪い取ることのできない権利として初めて体系化したものだった。「これらの諸法は、人々が他の人々を悲惨な境遇に陥れることや、他者の自然権を奪うことを最大限賢明に禁じているのである」しかし彼の後継者である Hume は、理性ではなく感情に基づく道徳を構築したのである。

### **43(34). 政教分離 SEPARATION OF CHURCH AND STATE 1733-78, VOLTAIRE**

Voltaire は教会と国家の分離、言論と宗教の自由、啓蒙主義的な君主、裁判の公正さを提唱した。彼は教育と理性により、人間は自身をその獣性から解放放つことができると主張した（そして人間は「不自然」に陥り墮落する、という Rousseau の主張に異議を唱えた）。

#### **44(80). 共和主義 REPUBLICANISM 1736-90, BENJAMIN FRANKLIN**

この有名な印刷屋は自分の出版社を用い、「不法に拘束された自由な黒人の救済」「自由な政府においては、支配者は召使であり、人民こそがその主人かつ主権者である」など、彼が新たな共和国の存続に不可欠であると信じていた道徳的な美徳の啓蒙に努めた。

#### **45(96). 懐疑主義 SKEPTICISM 1738-76, DAVID HUME**

懐疑主義とは、感覚からも理性からも信頼できる知識を導くことができないため、因果関係や科学は幻想であり、宇宙は不可知であるとする考え方である。Hume は道徳を理性ではなく感情の問題であるとみなした。彼の奴隷制度に関する考えは、人種的偏見による白人優位主義により曇らされていた。

#### **46(92). 百科全書派 ENCYCLOPEDISTES 1743-84, DENIS DIDEROT**

このフランスの執筆者協会は、膨大な百科事典の出版を通じて情報を普遍化し、啓蒙思想のアイデアに基づいて「人々の考え方を変える」ことを目的とし、また理性と感情の融和を遊じて調和を達成しようと試みた。これにより引き起こされた知的な熟成が、フランス革命へとつながったのである。

#### **47(99). 信仰と義務 FAITH AND DUTY 1745-1804, IMMANUEL KANT**

Kant は道徳は個人的な目的や幸福を追求するのではなく、純粋な無私の行為として義務により成されるものであるという点で、多くの宗教家と見解を一致した。「それだから私は、信仰を容れる場所を得るために知識を除かねばならなかった」（訳注：『純粋理性批判』 *Critique of Pure Reason*, (篠田英雄 (訳), 岩波書店, 1961.)

#### **48(35). 重農主義 PHYSIOCRAT ECONOMICS 1758-74, FRANÇOIS QUESNAY**

重農主義は自然の摂理を重視し、また重農主義者は商業と国家の完全な分離を意味する言葉であるレッセフェール（自由放任主義）による自由経済を唱えていた。

#### **49(61). 自由放任主義 LAISSEZ FAIRE 1759-90, ADAM SMITH**

彼は古典的自由市場経済理論を確立した道徳哲学者であり、その理論には自由な取引（自由放任主義）と奴隷制度に対する賃金の優位性が含まれていた。

#### **50(64). 精神の進歩 IDEA OF PROGRESS 1765-94, MARQUIS DE CONDORCET**

彼の『精神の進歩』は、神学的には予言されていないが、技術と社会学の応用により人間は環境は改善されと説いている。彼は奴隷制度を非難し、自由経済、自由で平等な公教育、立憲主義、女性と人種に対する平等な権利を提唱した。

#### **51(65). 陪審トライアル TRIAL BY JURY 1767-1816 : FERGUSON OF RAITH**

「誰もがすべての権利を持って生まれてくるのであり、奴隷として生まれてきた者はいない。誰も物や所有物になることはできないのだから、奴隷となれる者もない。従ってこれは権利の問題ではなく、権利侵害の問題である」 Ferguson は奴隷制度の廃止は急進的な改革ではなく、進歩の過程であると考えていた。

#### **52(46). 生命、自由及び幸福の追求 LIFE, LIBERTY, AND THE PURSUIT OF HAPPINESS 1767-1826. THOMAS JEFFERSON**

Jefferson は 1778 年のヴァージニアの奴隷輸入禁止法(1778)に始まり 1807 年の連邦法における奴隷輸入禁止法に至る、奴隷制度の根絶運動を最初に手掛けた政治家の一人だった。彼はアメリカとフランスの双方の革命において、自由と自然法の制定に寄与した。

**53(58). 反独占 ANTIFEDERAL MONOPOLIES 1771-99, JOSIAH TUCKER**

このウェールズ教会の聖職者は、東インド会社の独占的利権を含むすべての独占を排した自由市場を信奉していた。彼はまた、ユダヤ人の解放とアメリカの独立を提唱していた。

**54(20). 人間の権利 RIGHTS OF MAN 1776-1809, THOMAS PAINE**

『コモン・センス』 *Common Sense* において、Pain は自然状態における啓蒙思想の理論を用いて共和主義と人権を擁護し、政府を「必要悪」であるとみなした。しかし彼はロック派の混合状態を批判し、君主がどのような政体でも有益であるとの主張に疑問を呈した。

**55(66). 自然神学 NATURAL THEOLOGY 1785-1805, WILLIAM PALEY**

彼の『道徳と政治哲学の諸原理』 *The Principles of Moral and Political Philosophy* は時計職人の比喩を含む理性と経験に基づいた神と道徳の議論を用いて、奴隷制度と奴隷貿易を激しく攻撃した。

**56(88). 代議員 ELECTED REPRESENTATIVES 1796-1830, BENJAMIN CONSTANT**

彼は『現代の自由』 *Liberty of the Moderns* において、表現規制、法の支配、自由に対する国家からの過度の干渉からの市民の自由を支持することを表明した。この中で、彼は商業社会においては奴隷は存在しえないだろうが、ほとんどの人々は生計を立てねばならないだろうと論じた。また彼は市民が一般意思に総従属することを否定した。

**57(93). 行動主義 BEHAVIORISM 1798-1834, MALTHUS**

「マルサスの罠」とは、自由意志を欠いていた人類は、資源を人生を豊かにするためではなく人口を急増させるために消費する罠にとらわれていた、というものである。Malthus はインフレを誘発するとして福祉を批判し、食糧安全保障のために穀物輸入税を支持した。また彼は奴隷制度に反対する立場をとっていた。

**58(36). ファシズム FASCISM 1801-31, GEORG HEGEL**

ヘーゲル派の「弁証法」は、ファシズムや共産主義を含む国家崇拜についての不可解な弁明である。「人間が所有するあらゆる価値や精神的な成果は、国家を通じてのみ手にすることができる」「各個人は国家に従属するものである……国家が彼を要求する場合、個人はその身を投げうつことが求められる」

**59(97). セイの法則 SAY'S LAW 1803, JEAN-BAPTISTE SAY**

事業が悪化した場合、昔から商人たちは金融逼迫や過剰生産をやり玉に挙げてきた。Adam Smith はこの前者を、Say は後者の否定を論証した。「ある製品は生産されたその瞬間から、他の製品の市場からそれ自身の価値に見合った販路を生み出すのである」

**60(68). リベラリズム LIBERALISM 1803-25, HENRI DE SAINT-SIMON**

彼は管理者や科学者から労働者まで、生産的な労働に従事するすべての人々による「労働者階級」を定義し、この階層構造で成果主義の労働者組織により構成される政府を構想した。彼は生産的な仕事の障害を排除すること以上に、政府による経済への介入に反対した。

**61(78). 労働価値説 LABOR THEORY OF VALUE, DAVID RICARDO**

自由企業と自由貿易に賛成する古典的なエコノミスト。1823年3月に東インド会社の裁判所で会見したところ、彼は奴隷制度を国家の品性に対する汚点であると語った。

### **62(89). 功利主義 UTILITARIANISM 1822-73, JOHN STUART MILL**

Mill は東インド会社(EIC)の職員であり、(植民地制度へとつながる)「慈悲深い独裁主義」、言論の自由、および利巧主義を用いた資本主義による「最大多数の最大幸福」を信奉した。これらは譲渡不可能な権利ではないが(ミルはこれらは絶対でも権利でもないとした)、社会にとって有用なものと考えていた。

### **63(86). 実証主義 POSITIVISM 1830-57, AUGUSTE COMTE**

Comte の実証主義は、現実世界のような社会を動かす法則は、経験的事実から見出される、とする思想である。ここでは形而上学や神学のような、内省や直感による知識は否定される。

### **64(69). 市民社会 CIVIL SOCIETY 1833-59, ALEXIS DE TOCQUEVILLE**

Tocqueville は民主主義の台頭とアメリカにおける市場革命を観察した結果から、自由と平等は総合的にバランスを保つことが可能であると考えていた。人々は「自己の利益を正しく理解する」ことにより、「自らの人生を支配する」ことができ、また多数派の圧政を引き起こすことなく活力のある市民社会を創造することができる考えた。

### **65(3). 共産党宣言 COMMUNIST MANIFESTO 1848, KARL MARX**

マルクスにとって「抽象的な孤立した個人」という仮定が誤りだった。唯一の社会の現実是人々の階級にあった；その中では個人とその動機は無意味なのである。行動のため、そして過去、現在、そして未来を説明できる唯一の思想が階級意識なのである。

### **66(59) 種の起源 ORIGIN OF THE SPECIES 1859, CHARLES DARWIN**

Darwin は、人間とその起源は自然にあり、自然の法則に基づいていることを証明した。彼は後の「社会ダーウィニズム」として知られる戯画化された思想とは無関係である。多くの啓蒙思想家と同じく、彼も道徳的には理神論者だった。

## 東方アイデアカード **EAESTERN IDEA CARDS**

### **67(5). アントニウスの秘儀 ANTONINE MYSTICS 1704-06, KIMPA VITA**

アントニウス派はカリスマ的な若いコンゴ人、Beatriz Kimpa Vitaにより設立された混合主義的なキリスト教の宗派である。彼女は治癒やいくつかの奇跡により名声を得たのち、コンゴの首長により火焙りに処せられた。

### **68(83). 奴隷解放勅令 EMANCIPATION EDICTS 1723-1735, 雍正帝 YONGZHENG EMPEROR**

この一連の勅令は、「被差別民」に対して彼らの不道德な生業を改めることにより自身の地位を回復する権利を与えたものである。この被差別民には世僕、楽戸、および法により貶められた社会的地位に押し込められたていたその他の人々が含まれていた。

### **69(67). ベンガル復興運動 BENGAL RENAISSANCE 1795-1833, RAJA RAM MOHAN ROY**

このヒンズー教の学者で東インド会社(EIC)の職員でもあった彼は、サティー（訳注：寡婦の殉死）、男性のみの相続権、麻薬や児童婚など、伝統的な社会悪に異を唱えた。そしてキリスト教原理からいくつかの取り入れた、大規模なヒンズー教の社会改革運動であるブラフモ・サマージを設立した。

### **70(29). 平安道農民戦争 GWANSEO PEASANT WAR 1811-12, 洪景来 HONG GYEONG-NAE**

漢城府から平壤に派遣された徴税吏が、飢饉に瀕した農地から穀物を徴収しようとしたことに反発し、農民たちは蜂起に至った。（訳注：カードテキストが No.69 と重複しており、本項にはエラータ差替えテキスト(→)を記載。洪景来はこの蜂起の指導者）

### **71(9). セポイの乱 SEPOY MUTINY 1857, QUEEN RANI LAKSHMIBAI OF JHANSI**

東インド会社は、英国の統治する他の地域の2倍に達する26万人もの兵力でインドを支配するまでになっていた。この会社の支配と伝統的な藩王に対するインド中心部での反乱は、結果的に英国王がインドを直接支配する引き金となった。（訳注：ラクシュミー・バーイ Lakshmibai は反乱指導者ひとり、ジャンシー藩王国の王妃）

### **72(7). 東学農民運動 ANTIWEST DONGHAK DEMOCRACY 1894, 崔濟愚 CHOE JE-U**

この農民反乱の指導者は、儒教と韓国の民間信仰を統合した東学という新宗教を創設した。彼は外国の干渉を排した大衆的な人道を重んじた地上の楽園を追求した。彼は1864年に（訳注：反乱を率いて逮捕され）殉教したが、その名声は続く30年にわたる各地の農民反乱に引き継がれた。

### **73(39). 青年トルコ YOUNG TURKS 1900-08, YUSUF AKCURA**

この革命は「自由、平等、同胞愛」の旗印のもとオスマン帝国の絶対君主制を打倒し、1908年に世俗的な多党制民主主義による第二次立憲制期を築いた。（訳注：Akcura は汎テュルク主義を唱えた活動家）

### **74(76). 隠れキリシタン KAKURE KIRISHITAN 1636-1873, VICAR APOSTOLIC BERNARD PETITJEAN**

キリスト教徒の農奴による一揆ののち、1636年に幕府は鎖国令を布告した。「伴天連訴人褒美の事。上の訴人には銀子百枚、其より下には其の忠にしたがひ相計るべき事」（訳注：『日本史資料』東京法令出版より書き下し）「隠れキリシタン」となった宗派は、秘密裏にキリスト教の礼拝を続けることとなった。

Scorseseの映画『沈黙 -サイレンス-』を参照のこと。（訳注：括弧内は1635年の第3次鎖国令で、島原の乱(1637)と時系列の混乱がある。Petitjeanは幕末に大浦天主堂で隠れキリシタンを発見したカトリック宣教師）

**75(15). マムルーク奴隷蜂起 MAMLUK SLAVE REVOLT 1760-1798, ALI BEY AL-KABIR**

この子供時代に誘拐されてきたマムルーク奴隷は、長じて Shaykh al-Balad (エジプトの首長) にまで昇進したのちに、オスマン帝国の支配に対する反乱を起こした。これによりエジプトからエイラートにかけての地域は、西欧人の顧問のもと短期間ながら独立と西欧化を果たした。

**76(71). バプテスト伝道会 BAPTIST MISSIONARY SOCIETY 1793-1834, WILLIAM CAREY**

このバプテスト派の宣教師は、インドのベンガル地方を皮切りに現代的な概念に基づく伝道方を生み出した。彼の後継者たちは、アジア、カリブ海、アフリカ、欧州、南米にわたり伝道を推し進めた。

**77(28). 華民護衛官 CHINESE PROTECTOR 1863-1907, WILLIAM PICKERING**

この中国語とマンダリン語に堪能なベテランの海賊調査官兼交易人は、シンガポールで秘密結社組織と英国政府を仲裁し、またラルート戦争の終結に尽力した。彼は 1877 年にシンガポールで最初の華民保護官に任命され、苦力貿易の悪弊を終わらせた。

**78(53). 解放奴隷のロマンス ROMANTIC MANUMISSION 1859-1915, FLORENCE BAKER**

この白人の奴隷は、英国の探検家で奴隷解放運動家の Samuel Baker により、ヴィディンの奴隷市場から連れ出された。Florence は彼女を救い出した相手と結婚し、ヴィクトリア朝の世界に衝撃を受けるとともに、夫と共にスーダン、エジプト、オスマン帝国、シーク王国を冒険した。彼女は英語、トルコ語、アラビア語を話すことができた。

**79(31). 合邦構想 THE FEDERATION PLOT 1868-1907, 李提摩太 TIMOTHY RICHARD**

このバプテスト派の宣教師は、『萬國公報』*Wan Guo Gong Bao* (訳注：上海のキリスト教系新聞) で「中国における他のどの組織よりも改革を推し進めている、と言われている」と評された。彼は 1898 年に光緒帝に対し、四か国連合を設立するよう献策をおこなった。(訳注：後半は台湾の歴史家である雷家聖による研究より、伊藤博文も関与した「中、米、英、日の“合邦”」構想と思われる)

**80(44). BARBARY WARS 1801-15, LT. STEPHEN DECATUR**

バーバリー海岸の海賊は、高額的身代金や奴隷を求めてアメリカ船の船員を拿捕していた。ジェファーソンは常備軍と海軍には反対していたが、北アフリカの小国に謙ることなく、バーバリー戦争の開戦に踏み切ることによってその大統領の任期をスタートさせた。(訳注：Decatur はアメリカ海軍の士官で、トリポリ港への夜襲を指揮したこの戦争の英雄)

**81(25). デカブリストの福祉同盟 DECEMBRIST UNION OF PROSPERITY, 1821-26, PAVEL PESTEL**

彼のデカブリスト秘密結社は、ロシアの農奴を解放し、地主制度を制限し、公的な土地基金を創設し、特権階級を解体し、20 歳以上のすべての男性に政治的権利を付与することを求めていた。彼はこうした内容の「ルースカヤ・プラウダ」(訳注：憲法草案)を起草したが、1826 年に処刑された。(訳注：先んじて蜂起した北方結社が鎮圧され、その後の捜査で南方結社の幹部である彼も逮捕された)

**82(70). 阿片戦争 OPIUM WARS 1839-60, 同孚洋行 OLYPHANT & Co.**

極東交易を手掛けた David Olyphant は、阿片取引を拒否し、極東における伝道活動を支援し、スミス派経済学の自由貿易を支持していた。しかしこうした自由貿易は、社会の安定を求める清朝の近代儒教的な経済政策には受け入れ難いものだった。(訳注：モリソン号事件(1837)を引き起こした商船も同社の船である)

### **83(60). 白人王 WHITE RAJAHS 1841-1951, JAMES BROOKE**

ブルネイのスルタンは海賊討伐の見返りとして、この冒険家にサラワク王国を下賜した。初代の白人スルタンとなった Brooke は、奴隷制度、首狩り、海賊行為を禁止する法律を布告した。彼の王朝は 1946 年まで続き、現地人からは好意的に記憶されている。

### **84(33). クリミア戦争への介入 CRIMEAN WAR INTERVENTION 1853-56, LORD PALMERSTON**

この厳格な奴隷制度廃止論者で自由貿易的な強硬外交主義者は、ロシアの侵略に対するトルコの主権保護という名目で、英国をクリミア戦争へと導いた。彼は英国的な生活と価値観を、海洋を越えて内陸の不幸な人々まで押し広げるべきだと考えていた。

### **85(32). 砲艦外交 GUNBOAT DIPLOMACY 1854, COMMODORE PERRY**

アメリカの軍艦は江戸湾に進入し、徳川幕府が神奈川条約に調印することを強いた。これにより下田港と函館港がアメリカ船舶に対して開かれたことにより、220 年にわたる孤立政策（鎖国）が終結した。

### **86(95). 洋務運動 SELF-STRENGTHENING MOVEMENT 1861-95, 総理各国事務衙門 ZONGLI YAMEN**

阿片戦争での中国の敗北に直面した支配層は、保守的な儒教的世界観を維持したまま、西欧の軍事技術を模倣する決断を下した。こうした「洋務運動」には啓蒙思想的な考え方は取り入れられず、軍事的な範囲に限定されていた。（訳注：総理各国事務衙門は清朝で新設された外交・用務問題を管轄する中央官庁）

### **87(19). 殺主契 SALJUGYE SOCIETY 1862-63, PEASANTS OF IMSUL**

近代化に抵抗する 19 世紀の韓国では、地主や腐敗した官吏に対して 3 回にわたり広範囲な暴動が発生した。この Gwanseo, Imsul, 東学などの蜂起は、殺主契 Saljugye（「主を殺す」を意味する）や義賊 Nokrimdang を称する緑林義盗などの武装した秘密結社が中心となり戦われた。

### **88(23). 回民蜂起 THE DUNGAN RACE REVOLT 1862-77, 馬化龍 MA HUALONG**

太平天国の乱に対する民兵の備えに呼応して、このキャラバン商人は私財を投じてダンガン人（中国のイスラム教徒で、回民とも呼ばれる）のために銃を購入した。これにより漢人との間で宗教的な紛争が勃発し、ダンガン人の多くがロシア帝国領に逃亡した。

### **89(56). 自由経済協会 FREE ECONOMIC SOCIETY 1823-45, COUNT NIKOLAI MORDVINOV**

この英国かぶれの提督は、自由企業、私有財産を支持し、また農奴こそがロシア経済の足枷となっていると考えていた。彼はまた世界でも最初の経済学学会の会長でもあった。「自由と財産、啓蒙思想と正義こそが富の源泉である」

### **90(74). ナーダ議会主義 NAHDA PARLIAMENTARIANISM 1801-73, RIFA'A AL-TAHTAWI**

このエジプト人の学者は、フランスでの 5 年間の就労ののち、アル・ナーダ al-Nahda と呼ばれるイスラムの価値観に合わせた西洋化による文化復興運動を開始した。この理念には、反植民地主義、女性教育、サルタンの権力を掣肘する西欧型の議会主義などが含まれていた。

### **91(75). タンジマートによる西欧化 TANZIMAT WESTERNIZATION 1839-71, ギュルハネ勅令 EDICT OF GÜLHAME**

Montesquieu と Rousseau の影響を受けたこの 1839 年の勅令では、オスマン帝国の法の下でのイスラム教徒と非イスラム教徒の平等がうたわれていた。これは後に様々な文化を国家のもとに統一するオスマン主義の旗印となった。

**92(77). ゼムストヴォ地方自治 ZEMSTVO SELF-GOVERNANCE 1859-66, NIKOLAY MILYUTIN**

Milyutin は地方自治の機関であるゼムストヴォと 1861 年の農奴解放令の実施により、ロシアとポーランドにおいて自由主義的な改革を成し遂げた。これにより個人所有の農奴が、後には国家所有の農奴が、自身の望む相手と結婚することが可能となった。

**93(47). 愛国公党 PUBLIC PARTY OF PATRIOTS 1861-1919, 「サムライ」板垣退助 SAMURAI ITAGAKI TAISUKE**

この啓蒙主義的なサムライは、国家の権力を立憲主義により掣肘するため、武士的精神と西欧的自由主義を融合させた組織を結成した。こうした活動は自由民権運動において最高潮に達した。彼は右派の暴徒に銃撃された際に「板垣死すとも自由は死せず！」と叫んだ逸話が伝えられている。

**94(79). 新オスマン人秘密協会 YOUNG OTTOMANS SECRET SOCIETY 1865-1908, İBRAHİM ŞINASI**

この立憲主義者は、トルコ人の知識人による秘密結社である「新オスマン人」を率いていた。彼は *Tercüman-ı Ahvâl* や *Tasvir-i Efkâr* などの新聞を用い、学識者に対するタンジマート時代に始まるイスラムの理念に沿った啓蒙思想の促進に努めた。

**95(48). 草の根政党 GRASS ROOTS PARTY 1880's, 千葉 卓三郎 CHIBA TOKUSABURO**

この教師は宣教師から自然権の理論を学んだ。彼は議会選挙、西欧との不平等条約改正、市民権、陪審裁判、地方分権を掲げた市民運動を行った。こうした運動は 1889 年の明治憲法の布告と 1890 年の議会選挙へと繋がった。

**96(49). 独立党 INDEPENDENCE CLUB 1894-95, 兪吉濬 YU KIL-CHUN**

彼は啓蒙思想の広まりにより韓国に新たに出現した知識人の一人であり、立憲民主主義と自由企業による資本主義経済を推進した。（訳注：独立党は朝鮮の急進開明派で、1884 年にクーデターを起こすが清の介入により鎮圧された。記載年は兪吉濬が金弘集内閣の閣僚として甲午改革に携わった期間）

**97(50). バハーイー教徒のフリーメイソン会員 BAHAI' FREEMASONRY 1897-1905, MUHAMMAD ABDUH**

このフリーメイソンの会員でバハーイー教の改革者は、エジプトでムフティーの地位に就いた。彼は柔軟な法解釈により、非イスラム教徒が処理した肉を消費することや、貸付に対する利子を徴収することを認めた。こうした活動はクローマー卿をはじめとする英国からは称賛されたが、宗教的、民族主義的な指導者たちの怒りを招いた。

**98(27). 百日維新 100 DAYS REFORM 1898, 六士大夫 THE SIX GENTLEMEN**

この 6 名の士大夫は、中国を絶対君主制から民主主義・資本主義的な立憲体制へと改革する皇帝の百日維新を推進した。彼らは反改革の政変（戊戌の変法）により、西太后により斬首に処せられた。

## 革命カード **REVOLUTION CARDS**

### 99. ブラジル **BRAZIL**

#### 奴隷革命 - ラテンアメリカの独立 **LATIN AMERICAN INDEPENDENCE 1808-33, SIMON BOLIVAR**

彼はベネズエラ、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルー、パナマの各国の独立を主導し、その過程でスペイン領アメリカの多数の奴隷を解放した。彼はアメリカが共和主義国となることを夢見ていたが、南米の現実的な政治環境は独裁者を求めていると感じていた。

#### 市民革命 - ペルナンブーコ蜂起 **PERNAMBUCAN REVOLTS 1817-27, BROTHER MUG**

このカルメル会修道士は、ポルトガルによるブラジル支配に反抗する秘密結社であるアカデミア・ド・パライズ *Academia do Paraíso* に関与していた。Jefferson, Montesquieu, Rousseau らの自由主義と共和主義の思想に感化されたこの「ブラザー・マグ」は、ふたつの短命に終わった分離主義者の共和国に関与していた。  
(訳注：もう一件は 1824 年のエクアドル連邦 Confederation of the Equator の蜂起)

### 100. 東インド諸島 **EAST INDIES**

#### 奴隷革命 - マスケット戦争 **MUSKET WARS 1807-45, CHIEF RUATARA**

このンガプヒ・イウイ *Ngapuhi iwi* の進歩的な首長は、西欧の知識、作物、宣教師をニュージーランドに導入した。このこれにより増大した彼のマナ（権力、影響力、威信）は、奴隷化を伴うマオリ派閥の抗争であるマスケット戦争を抑止していた。（訳注：彼の死後にマスケット戦争が本格化した）

#### 市民革命 - フィリピン革命 **PHILIPPINE REVOLUTION 1892-96, JOSÉ RIZAL**

このフィリピン人によるプロパガンダ運動では、スペイン国会に対して強制労役（ポロ奉仕）とバンダラ（政府の強制買い上げ）の廃止、聖職者の世俗化、カトリックの教義とは独立した学校、組合の自由、法律上の平等な権利などを要求していた。（訳注：表記の年代は José Rizal のフィリピンでの活動期間）

### 101. 西欧 **EUROPE**

#### 奴隷革命 - フランス革命 **FRENCH REVOLUTION 1789-99, GENERAL LAFAYETTE**

フランスで興隆した中産階級と、一部の貴族と労働者階級は、アメリカ革命で芽生えた啓蒙思想的な理想を実現しようとしていた。自然権と平等を保障された自由な個人を国家の基盤とする「人間と市民の権利の宣言」は、奴隷制度廃止派である Lafayette と Jefferson により起草されたものである。

#### 市民革命 - ナポレオン法典 **NAPOLEONIC CODE 1799-1821, NAPOLÉON BONAPARTE**

これはローマ帝国以来最大の法律体系であり、能力主義、法の前での平等、財産権、宗教的寛容、現代的な教育制度、健全財政などを擁護していた。しかし残念ながら、Napoleon は奴隷制度については実利主義的だった。

### 102. 13 植民地 **13 COLONIES**

#### 奴隷革命 - 南北戦争 **U.S. CIVIL WAR 1862-65, P.D.T. ABRAHAM LINCOLN**

彼の大統領選挙は、奴隷所有州の連邦離脱という事態を引き起こした。彼の奴隷解放宣言は北部ではなく、実効支配のない南部の奴隷のみを解放するというものだった。南部の抱える奴隷を爆弾としたこの戦時立法は、憲法第 13 修正による奴隷制度廃止へとつながった。

## 市民革命 - アメリカ革命 **AMERICAN REVOLUTION 1765-83, GEORGE WASHINGTON**

この「代表なしの課税」に対する反乱は、John Locke の思想に基づく憲法を制定し、啓蒙思想の理念に基づいて創設された最初にして唯一の国家を生み出した。

## 103. ズールーランド **ZULULAND - 奴隷革命**

### 奴隷革命 - エジプトを覆うベール **EGYPTIAN VEILED 1882-1913, LORD CROMER**

反西欧的なウラービー革命の後、英国はエジプトを占領し、Lord Cromer を総督として赴任させた。Cromer はイスラム教の下では低かった女性の地位が、キリスト教の下で高められたと主張した。

### 市民革命 - ズールー戦争 **ANGLO ZULU WARS 1879, SHAKA**

ズールー族の呪術医との抗争に勝利した後、Shaka は彼の王国を中央集権的に改革した。宗教は国家に従属され、敗北した部族は完全平等主義にもとづいて統合され、民間や軍事部門における昇進は身分ではなく能力に基づいて行われた。

## 104. コンゴ **KONGO - 奴隷革命**

### 奴隷革命 - リベリア独立 **LIBERIAN INDEPENDENCE 1811-47, PAUL CUFFEE**

(訳注：アフリカ系の) アシヤンティ族 Ashanti と (北米先住民系の) ワンパノアグ族 Wampanoag の両親を持つこのクエーカーの船主は、議会とアメリカの黒人自由民の指導者らから、自由民となったアメリカの奴隷たちをシエラレオネの英国植民地に移住させる支援を受けた。その後、アメリカ植民協会によりリベリアが設立された。

### 市民革命 - コンゴ内戦 **KONGO CIVIL WAR 1670-1709, QUEEN NZINGA**

ンドンゴ Ndongo とマタンバ Matamba の両王国の女王として、彼女はコンゴ=ポルトガルの奴隷同盟からの隷属要求に対して反抗した。彼女は奴隷制度廃止派ではなかったが、その長い治世の長引く戦乱の間に交易奴隷からの難民を受け入れ、再定住に務めた。

## 105. インド **INDIA - 奴隷革命**

### 奴隷革命 - カーナティック戦争 **CARNATIC WARS 1744-63, ROBERT CLIVE**

ナワーブ (ベンガル太守) が東インド会社(EIC)のダスタック (ベンガル地方での免税貿易免状) を取り消したことが発端となり、Clive は EIC ベンガル軍を率いてフランスの支援を受けた太守軍を撃退した。彼は最初の「ベンガル知事」に就任(1757)し、独占貿易と土地税を乱用した。(訳注：カーナティック戦争は、イギリス領マドラスとフランス領ポンディシェリーとの三次にわたる戦争)

### 市民革命 - ベンガル&マイソール戦争 **BENGAL & MYSORE WARS 1758-1818, VICEROY WILLIAM HASTINGS**

インドで最初の知事(1774)となった Hastings は、長年にわたりインドの民衆と支配者との関係を理解するよう努め、時には両者の仲介を試みた。

## 106. オスマン帝国 OTTOMAN

### 奴隷革命 - 農奴解放令 EMANCIPATION MANIFESTO 1861, TSAR ALEXANDER II

自身が欧州で最後の封建帝国となっていることを痛感した皇帝は、2,300万人の農奴を解放して完全な市民権を与えるとともに、彼らの元の主人たちが所有する土地の一部を解放した。こうした地主たちは、既に国家が彼らの領地の1/3に及ぶ抵当権を保持していたため、この施策に反対することができなかった。

### 市民革命 - ロシア革命 RUSSIAN REVOLUTION 1905-22, LEON TROTSKY

古典的なマルクス主義によれば、共産主義革命はロシアのような農民を基盤とした国家ではなく、完全に成熟した資本主義の国家から発生するはずだった。「歴史的経験は、農民が独立した政治的役割を担う能力を完全に欠いていることを示している」（訳注：トロツキー『総括と展望』西島栄訳(→))

## 107. 清朝 QING CHINA

### 奴隷革命 - 太平天国の乱 TAIPING REBELION 1850's, 洪秀全 HONG XIUGAN

この貧農出身の神秘主義者は、キリストの弟として天国に昇天するという天啓を受けた。彼の太平天国軍が清朝の軍隊を退けたのちに、彼は南京に設けた宮殿から農地の公有化や、麻薬、複婚、奴隷制度の禁止など、儒教と仏教の因習を打破する勅令を乱発した。

### 市民革命 - 辛亥革命 XINHAI REVOLUTION 1905-12, 孫文 SUN YAT-SEN

孫文は中国の建国の父、そして中華民国（現在の台湾政府）の初代大統領として、次のような三民主義を唱えた：非民族的な独立国家（訳注：民族主義）、西洋的な民主主義（訳注：民権主義）、民生主義（自由貿易と近代的な税制改革）。

## 108. 徳川幕府 TOKUGAWA JAPAN

### 奴隷革命 - 賤民解放令 SENMIN HAISHIREI EDICT 1868-69, 大久保利通 OKUBO TOSHIMICHI

戊辰戦争後の明治維新において、大久保は日本を伝統的な儒教的身分社会から、西欧をモデルとしたアジアで最初の近代国家に生まれ変わらせた。彼は農奴と「不可触民」である「部落民」の身分を解放する「解放令」を布告した。

### 市民革命 - 西南戦争 SATUMA REBELION 1877, 西郷隆盛 SAIGO TAKAMORI

明治の近代化の二人の立役者の一方である西郷は、もう一人の立役者である旧友の大久保の政策に反対した。大久保の近代軍に対する彼の生き様とサムライ的美意識による自決は、多くの映画の題材となった。

## バリアー **BARRIARS**

### **AMERICA:** アメリカ（北米）

**Fugitive Slave Laws:** 逃亡奴隷法。逃亡した奴隷の返還規定。

**Jim Crow Segregation:** ジム・クロウ法。南部諸州の人種差別法の総称。

**Ku Klux Klan:** クー・クラックス・クラン。アメリカの白人至上主義結社。

### **BRAZIL:** ブラジル（南米）

**Bandeirantes:** バンディランティス。奴隷狩りにも従事したブラジルの奥地探検家。

**Candomble Males:** カンドンブレ。アフリカに由来するブラジルの民間信仰。

**Dizimo Tax:** 十分の一税。ラテンアメリカ諸国の農作物税。

### **CHINA:** 中国（清帝国）

**Boxers:** 義和団。

**Canton State Monopoly:** 広東貿易制度。広東港を窓口とする朝貢貿易体制。

**Hereditary Serfdom:** 世襲農奴。

**Likin Tax:** 釐金。清朝で太平天国の乱鎮圧のために始まった地方税で、その後も恒常化した。

**Manchu Inquisitors:** 文字の獄。中国歴代王朝による文書検閲による粛清。

### **EAST INDIES:** 東インド諸島

**Blackbirders:** ブラックバーダー。東インド、オセアニア地方の奴隷貿易人。

**VOC monopoly:** オランダ東インド会社(VOC)による貿易独占。

**Padri Clerics:** パドリ派聖職者。スマトラ島のイスラム改革運動。

### **EASTERN AFRICA:** 東アフリカ

**Ali Corvee Serfdom:** 強制農役？情報募集中。

**Iltizam Tax Farms:** オスマン帝国から年間契約で借り受ける納税用農場。

**Shakan Warlords:** ズールー帝国。

**Ulama:** ウラマー。イスラム法学者。

### **EUROPE:** 西欧

**Gabelle Tax Farmers:** フランス王国で戦費調達のために始まった間接税（塩税）で恒常化した。

**The Terror:** フランス革命の恐怖政治。

**Continental System:** 大陸封鎖令。ナポレオンによる対英経済封鎖。

### **INDIA:** インド

**Caste System:** カースト制度。

**French EIC Monopoly:** フランス東インド会社(EIC)による貿易独占。

**Hindutva:** ヒンドゥー至上主義。

**Zamindar Feudalism:** ザミンダール制度。農場徴税権を持つ貴族による封建制。

**Zamindari Tax:** ザミンダール制度による農産物課税。

## **JAPAN:** 日本

**Agricultural Stipend:** 年貢による農産物課税。

**Sakoku Seclusion:** 鎖国政策。

**Sakoku Kansei Censors:** 鎖国による検閲。

**Sonno Joi Ronin:** 尊王攘夷浪人。

**Tokugawa Shogunate:** 徳川幕府体制。

## **OTTOMAN:** オスマン帝国（東欧&ロシア）

**Devshirme System:** デヴシルメ制度。キリスト教徒を強制徴用しスルタンの奴隷とする慣習。

**Dvoryane:** ドボリャーネ。帝政ロシアの貴族階級。

**Jizya Tax:** ジズヤ。イスラムの人頭税。

**Pan-Islamism:** 汎イスラム主義。西欧に対抗したイスラム世界の統合運動。

**Timar Feudalism:** ティマール制。オスマン帝国の軍事封建制度。

## **WESTERN AFRICA:** 西アフリカ

**Asante Slavers:** アシャンティ王国の奴隷商。ガーナの奴隷輸出部族。

**Imbangala Slavers:** インバンガラ奴隷商。輸出用のコンゴ人狩りを請け負った部族。

**Witch Doctor:** 呪術医。。

## 奴隷商 **SLAVERS**

**Barbary Pirates:** バーバリー海賊。

**Canton Opium:** 中国とのアヘン貿易。

**Caribbean Sugar:** カリブ海の砂糖貿易。

**North Atlantic Cotton:** 大西洋の綿花貿易。

**Pacific Tea:** 東洋の茶貿易。

**South Atlantic Coffee:** 南大西洋コーヒー貿易。

**Trans Saharan Harems:** サハラ砂漠を縦断する北アフリカ奴隷貿易。

**VOC Rubber:** オランダ東インド会社(VOC)のゴム貿易。

**Zanzibar Ivory:** ザンジバルの象牙貿易。

